

日中はまだまだ暑いですが朝晩はだいぶ涼しくなり、虫の声もセミからコオロギやキリギリスに移りかわってきました。豊かな恵みの秋が待ち遠しいですね！さて、今月からいよいよインフルエンザワクチンの予約が始まります。ネットの予約画面にて最新情報をお伝えしていきますので、ご確認ください。

院長 池澤 滋

感染症情報 7/18~8/21	前回	今回
アデノウイルス	2	2
溶連菌感染症	1	1
感染性胃腸炎	131	73
水痘(水ぼうそう)	6	0
手足口病	19	49
RSウイルス	1	4
突発性発疹	14	20
りんご病	0	2
ヘルパンギーナ	0	1
キャンピロバクター	0	1
ヒトメタニュー	0	2
インフルエンザB	0	0
おたふく風邪	0	2

住所：合志市野々島 2461
(ユーパレス弁天 北側)
TEL：096-242-6633
診療時間：9：00～/14：00～18：00
休日：木曜・土曜午後・日曜祝

実話

「インフルワクチン10月開始！」
今年も診療時間に保護者の接種をさせていただきます！
予約なしで受付にお申し出ください！

① **インフルエンザワクチン**
今年はお子さんのワクチンに
大人1300人分をご用意しました。
お知らせ

② はい、お子さんの
診療時に接種できます
予約なしでいいの？
ふつたね

③ **大事**
お子さんのワクチンは
ネット予約をお願いします
母子手帳もご持参ください
問診票は記入してご来院下さい

④ **当日券売機**
券売機で
ともどもスピーディー！

4コマまんが
作・絵
ちえこ&もみこ

それぞれの場所で



先月、お盆明けの診察の中で重症な患者さんが出て、クリニックから救急搬送をした。サイレンを鳴らしながら再春壮病院に着くと救急外来の自動ドアからビニールの術衣を着たドクターが駆け寄ってきた。頭にはビニールのヘッドキャップで、もはや顔など認識できないほどゴーグルの奥の額からは汗が噴き出している。ナースが保険証をビニールで受け取り事務員の方が紹介状を広げ、見やすいようにしてビニールで受け取る。テレビでよく見る救急医療の現場にいきなり紛れ込んでしまったような緊迫感を覚え、全ての行動にこれまでにない手数がこんなにも必要なのだと改めて認識した。この暑さの中、外で働く工事の方や作業員の方達を見掛けると、外での仕事は本当に大変だと思っていたが、こんなふうに、クリニックから搬送されたり、救急外来で対応するナースやドクター達も毎日汗だくで対応して下さっている。それを目の当たりにして、頭が下がる思いがした。そしてともに搬送した救急隊員の方もよく見ると皆さん汗だくになっていた。



医療者はエアコンの中で仕事ができず申し訳ない、と日頃思っていたが、救急センターの医療者はひっ迫した状況の中、しかももうかれこれ2年以上もこんな状態なのだと改めて思い至ると、この尋常でない事態に本当に胸が痛む。同じ医療者であっても現場が違えば知らないこともたくさんある。また物理的な汗だけではなく「心の汗」だってある。そこに居なければ解り得ない事を斟酌するのは容易ではない。患者さまを送った帰り、タクシーを待つ間、遠い昔、まだ独身の頃、夫と救急搬送に行ったことを思い出す。あれから30年経過しても同じような仕事をしている、私はこの仕事が好きなんだと改めて思う。コロナ禍の中、日本中で世界中で、今日も誰かが誰かのために必死に働いている。ひとつの命が、そばにいる人を助ける。看護師として私はあと何年働けるだろう。コロナの社会はこの先どんな風に変化するだろう。どんな未来だとしても、自分にも、我が子にも誇れる仕事をしたい。



文責 池澤 千恵子